

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	2	月	9:00	13:30	太田ヶ谷の森	13
活動名称	小彼岸桜植樹、草刈り等					報告者：小沼	

<活動目的>

太田ヶ谷の森東側の道路沿いに小彼岸桜 14 本を植樹し、森内の草刈りを実施する。

<主な活動内容>

- 道路沿いに 7m 間隔で小彼岸桜を植樹したが、道路の護岸が崖になっているところがあり、道路端より 2m から 1.75m と植樹場所の幅が生じた。
- 小彼岸桜には園芸用イボ支柱を立て、シュロ縄で縛り付けた。
- 小彼岸桜の近辺にフキを植えた。
- 小彼岸桜植樹後、森内の小彼岸桜 2 脚鳥居周辺の草刈りを実施。(作業前にハンマーナイフで周辺の草刈りを実施)
- 当クラブで昨年植樹した 4 か所でイボ支柱を立てていた場所周辺の草刈りを実施。(作業前にハンマーナイフで周辺の草刈りを実施)(サッカー場北側の植樹場所は源流の会で草刈りをする予定)
- 小彼岸桜には虫除けの消毒を実施した。
- 昼食後、都市計提案の太田ヶ谷の森ゾーニング案を元に当クラブとしての見解について会員間で意見交換した。主な意見は次の通り。
 - ・ 西側の小彼岸桜植樹地は散策道がないので道を作る。
 - ・ 上記散策路は行き止まりとなっているので森を周遊できるよう南側に散策路を設置する。
 - ・ サッカー場東側から竹林に降りる場所に階段を設置する。
 - ・ 竹林の西側から大谷川を渡る橋を架け、周遊できるようにする。
 - ・ 蓮池の東側はコンクリの水路があり蓮池を周遊できないので周遊できるようにする。
 - ・ 四季の広場の西側緑地に実のなる木(木いちご等)を何種類か植樹する。
 - ・ 都市計案の草原の広場の半分程度に 15 種類以上の桜を植樹し桜の園を作る。
 - ・ 都市計案の草原の広場と学習林の間の散策路は農大時代に銀杏並木があったので銀杏を植え並木道にする。(現在、北川道路から橋を越えたところまで銀杏並木がある。)
 - ・ バーベキューができる場所を確保する。
 - ・ 蓮池南側にテーブル付椅子を 2 脚設置したが、森内散策者に好評であるので追加設置を考えたい。

<課題・評価>

- 道路沿いに小彼岸桜を植樹したが、2 脚鳥居設置がなければ 1 時間程度で 14 本を植樹できることが判明した。
- 昨年植樹した場所には現在、どれくらい生き延びているのか心配したが、草を刈った後に幼木が残っている場所が多く、思ったほど消滅していなかった。(15~20 本程度は消滅していた。)

<里山参加会員>

松本忠、松下、柳川、内藤、杉山、脇谷、橋本、小嶋、小澤邦、吉井、牛島、大森、小沼

<活動写真>

